市民のひろば

まちの声

◆物部川について（第5回かみかみクイズ応募から）

物部川といえば、やはり湖水祭。とうろうは、静かに湖面を流れ、花火がにぎやかに打ちあがります。曲もおどりも以前のまま。昔から変わらない、なつかしいお祭りです。

◇　◇　◇

いつまでもキレイな物部川であってほしいと願っています。

◇　◇　◇

私の子どもの頃から比べるとずいぶん川がヤセましたね。

◇　◇　◇

幼少時代は、物部川でエビを捕ったり、ゴリを捕ったり、父に連れられ船で渡ったり…。なつかしい思い出がいっぱいあります。大人になった今の物部川は、水量も減り、水もにごり、川を見るたびに残念な気持ちになります。

◇　◇　◇

私にとってはふるさとの川。小さい頃に泳いだことが、楽しい思い出として心の中にいつまでも残っています。

◇　◇　◇

釣り好きの祖父に連れられて、物部川へはよくアユ釣りに行ったものです。ユズ入りのアユの姿寿司のおいしかったあの味が忘れられません。もう、50年余り前のなつかしい思い出です。

◇　◇　◇

先日あるイベントで、べふ峡を訪ねました。物部川にたくさんの水生生物がすんで欲しいと川をキレイにするために、さまざまなことに取り組まれていることを教えていただきました。山にすむ鹿により木が食べられ倒木することにより山が崩れ川に流れ込む。結果として川が汚れるだけでなく、修復するために莫大な費用が税金から投入される。一言で川をキレイに！と言うのは簡単ですが、元に戻すためには沢山の人の努力で長い時間と多くの費用がかかることを、一緒に参加した子どもとともに心にとどめておこうと思いました。

◇　◇　◇

物部川は昔に比べて水量が減少してしまい場所によっては、水が膝までない場所もあり、数十年間の川の変化に少し驚いています。水質については、6年ぐらい前に比べて綺麗になったように思います。

◇　◇　◇

私が高校生の時、台風で増水して橋が物部川につかって、学校へ道を回って通いました。新しい橋をかけてくれて、また、普通に通うことができました。ありがたいものです。

神氏ちゃん その40 〜年賀状ってぬくもり感じるよね！の巻〜
わくわく
わくわく
1月1日の朝ー
今年は何枚来てるんだろう？
たくさん来てるといいなぁ…
どさどさっ
めでとうございます
神氏ちゃんには毎年沢山の神様から年賀状が届きます

作：山田高校マンガ部

新年新企画
誕生日を迎えられるお子さんの写真を募集します

4月号から、『誕生日おめでとう』と題して、発行月に満1〜3歳の誕生日を迎えるお子さん（市内在住）を紹介するコーナーを始めます。今回募集の対象となるのは、**平成20〜22年の4月生まれのお子さん**です。

応募方法　①お子さんの写真②名前（ふりがな）③住所④生年月⑤保護者氏名⑥昼間連絡がとれる電話番号⑦コメント（20字以内）を添えて、Eメールで、ご応募ください。希望者多数の場合は、掲載できない場合があります。詳しくはお問い合わせください。

■応募締切　2月18日（金）
■あて先　誕生日おめでとう係

掲載イメージ
写　真
毎日元気に遊んでます！
香美（かみ）　次郎（じろう）ちゃん
（3歳・⑪宝町）

【問い合わせ先】企画課　☎53−3114

香美史探訪記

第20回　天水田と塩の道（香北町黒見・物部町庄谷相）

塩の道（古代からの往還）は、自動車道が整備されるまでは、集落間の尾根筋を通行して発達し、天水田は山腹や山頂の平坦地に拓かれた雨水頼みの水田である。

近年、物部町大栃から赤岡浜へ通じていた旧往還が復旧され、香北町黒見地区の天水田跡には、休憩所が整備され、桜木が植えられて公園化されている。この天水田跡へは、物部町庄谷相から林道を車で行ける。広さ約80アールほどで、近隣の天水田とともに、転作が始まった1970年頃には植林化されていたようである。西方400メートルほどに、黒見から尾根越で吉野地区に出る道との十字路がある。ここには、熊王山や吉野大師堂への丁石や、御在所山社の礼拝所石が置かれている。さらに、西方1.8kmには寺跡に井戸が残っている。室町時代以前の**善妙寺**という寺があったようで、山上ではあるが、枯れることがないと伝えられ、昭和30年代まで住居があったらしい。

地元には天水田伝説がある。その昔、物部町**頓定仁尾が谷**に**八百平**（やおへい）という猟師がいた。セノジ越えに五畝ほどの天水田を見て、その拓き方の教えを請うたが、教えてもらえず、見よう見まねで開拓を始めた。山の平らな山林を伐り払い、上土は集めて置いた。掘ってならし赤土を厚く敷いて杵で叩き締め、上土を戻し耕土を入れて雨を待った。大雨に牛を追い上げて、牛鍬（くわ）や馬鍬ですいてならし、水田が完成した。

天水田は陽あたりがよく収量は多かったが、収穫期も水を抜くと、底が割れるので湛水（たんすい）のままで、稲の収穫には小舟を使った。次第に、庄谷相、拓（つぶせ）、神池や熊押（くもおす）まで稲が作られるようになった。昨年は、神池で作付されただけである。八百平の楽しみは、毎年、天水田に稚鯉を入れ、1年で大きく育てることだったそうである。　（香美史談会）

黒見休憩所と天水田跡

▲塩の道（久保川〜中谷川登り口）

ただいま留学中㊹
譚（タン）　仁鵬（レンパン）（中国・瀋陽市）

こんにちは、私は一昨年の10月に瀋陽から来ました。高知工科大学知能ロボティクス研究室博士後期課程に在学中です。私の研究は歩行訓練機の制御です。研究成果を発表した国際学会で賞をもらいましたので、今日はそのことを紹介します。

研究室は、これまで全方向に動くことが可能な歩行訓練機の開発をしてきました。歩行訓練は一般的に『前に進む』ことと考えられていましたが、実際の人の動きは前後、左右、斜め、それに回転もします。このような動きができる全方向型を開発してきました。そして、やっとできた訓練機に『歩行王（アルキング）』という愛称を付けました。『歩くリハビリ』、歩行訓練と歩行支援を効果的に行うことができます。私は王碩玉先生の指導の下、この機械の制御法を開発しました。実験によって、私の制御法が有効であることが確認されました。

この研究成果を、昨年8月に中国の西安で開催された国際学会2010IEEEで発表し、最高論文賞を受賞しました※。366件の論文から選ばれて大変嬉しく思っています。

今では、高知の生活に慣れ、研究も順調に進んでいます。皆さんのおかげだと、感謝しています。私の研究が皆さんの転倒予防、健康生活に役立ってほしいと願っています。引き続き、よい研究成果が得られるように頑張ります。これからもよろしくお願いします。

※論文は共同研究

▲譚仁鵬さんと歩行訓練機